

点と線の美学

アラビア書道の軌跡

Lines and Dots

The Aesthetic Journey of Arabic Calligraphy
A Thematic Exhibition for the 50th Anniversary of the Museum's Founding

2025.3.13 |木| - 6.17 |火|

10:00-17:00 (入館は16:30まで)

会場: 国立民族学博物館 本館企画展示場

休館日: 毎週水曜日

主催: 国立民族学博物館

協力: NIHUグローバル地域研究推進事業「グローバル地中海地域研究」民博拠点、公益財団法人千里文化財団、日本アラビア書道協会、Al Qalam Art House



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology



本田孝一作「人類のピラミッド」ヒジュラ暦1445年(西暦2023年)、スルス書体、クルアーン第49章13節、180×270(cm)



点と線の美学 — アラビア書道の軌跡

アラビア書道はアラビア文字を美しく書く手法を追求する芸術である。10世紀のバグダードで体系化され、主にイスラーム建築の装飾やクルアーン写本に用いられてきた。アラビア書道に魅了された人々が中東・イスラーム世界に限らず、欧米や日本においても、千年の伝統と向き合い、作品制作に真摯に取り組んでいる。20〜21世紀におけるアラビア書道の変容と再生の軌跡をたどる。

Lines and Dots

The Aesthetic Journey of Arabic Calligraphy
A Thematic Exhibition for the 50th Anniversary of the Museum's Founding

1 Harf ハルフ | 文字

アラビア文字の世界

この文字の歴史的・地理的な広がりに加えて、綴り方や読み方を解説する。

2 Kitaba キターバ | 手書き

書家の黄金期

マスメディアの発展とともに、アラビア書道はコミュニケーション・ツールとしての役割を獲得した。新聞や広告などの「読める」アラビア書道とともに、書道デザインを用いた手工芸品を紹介する。

3 Khatt ハット | 書

古典作品の現在地

伝統に根差した革新に向けて精進するエジプト人書家の古典作品を集めた。

4 Fann ファンヌ | 芸術

現代アートとしての展開

アラブ・イスラーム文化圏の周縁に身を置く三人の作家のアラビア文字をモチーフとした作品を紹介する。



1. ナタリア・ドゥーク・Q撮影「マンシーヤト・ナスルに書かれたエル＝シードの作品」エジプト、2016年
2. 「紅茶のパッケージ」エジプト、1950～60年代(推定) 3. 「サイダーのラベル」エジプト、1950～60年代(推定)
4. ハマード・ファーズ・イブラーヒム作「クルアーン第52章48節」シジュラ暦1445年(西暦2023年)、スルス書体、19.7×66.5(cm)
5. イザベラ・ウフマン作「メタモルフォーシス」2021年、42.2×29.2(cm)
6. サラーフ・アブドゥル・ハーレク作「アッラー以外に神はなし」シジュラ暦1437年(西暦2015～2016年)、クーフィー書体、78.0×49.2(cm)
7. ハサン・マヌワーディー作「人」1996年、75×55(cm)

関連イベント 各イベントの詳細はHPでご確認ください。 →



みんぱくウィークエンド・サロン

- 3月23日(日) 鈴木慈子(兵庫県立美術館学芸員)、相島葉月(本館准教授)
- 4月13日(日) 中道静香(本館外来研究員)、山中由里子(本館助教)
- 5月 4日(日) 黒田賢治(本館助教)
- 5月11日(日) 菅瀬晶子(本館准教授)
- 5月18日(日) 吉岡乾(本館准教授)

みんぱく映画会

- 6月 8日(日) 「人もモノもうつろいゆく時代に、点と線は変わらぬ価値を描く」上映作品『フォトコピー』(エジプト、2017年)

みんぱくゼミナール

- 4月19日(土) 本田孝一(アラビア書道家)、相島葉月(本館准教授)

ワークショップ

- 3月29日(土) 「アラビア書道とはじめ やってみよう筆づくり」山岡幸一(日本アラビア書道協会事務局長)、相島葉月(本館准教授)
- 5月18日(日) 「アラビア書道とはじめ 書いてみよう点と線」山岡幸一(日本アラビア書道協会事務局長)、重信紀子(日本アラビア書道協会講師)、相島葉月(本館准教授)

友の会講演会

- 5月3日(土・祝) 永井正勝(筑波大学教授)、相島葉月(本館准教授)

ご利用案内

開館時間…………… 10:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日…………… 水曜日
観覧料…………… 一般580円/大学生250円/高校生以下 無料
*観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

大阪モノレール……「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分
バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
乗用車…………… 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。
最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401
https://www.minpaku.ac.jp/



関西から
文化力
POWER OF CULTURE